

県民1人あたりの  
福祉予算

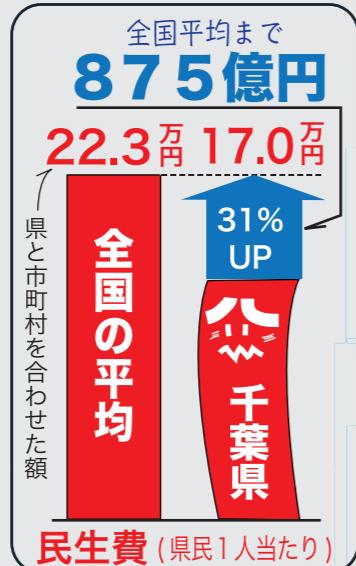
# 全国平均より 5.3万円も少ない

(総務省の「統計でみる都道府県のすがた(2018)」より)

「民生費」は、児童福祉や老人福祉、障害者、母子、生活保護など福祉全体を成す経費です。

「民生費」は全国47都道府県で46位。まさに最下位クラスです。

県と市町村合わせた1人当たりの全国平均が22万3300円に対し千葉は17万300円で5万3000円低くなっています。県の民生費(H30)は2823億円で全国並みにするには31%・875億円の上乗せが必要です。



## 生徒1人当たり 高校は10万円低い

ほとんどを県予算で賄っている公立高校費。高校生1人当たりの全国平均は101万円に対し千葉県は91万円と11.2%も低くなっています。

県の公立高校費は828億円。全国平均にするためには93億円上乗せが必要。

## 市民と協力し 松戸で要求実現に全力

### 国道6号の安全対策

事故多発の馬橋弁天歩道橋下。「急こう配の歩道橋は渡れません」と高齢者からの悲痛な訴え。共産党も加わった改善求める会が発足。運動が広がり、信号機と横断歩道が設置されました。高齢者と渡りぞめをするみわ由美県議



コミバスの実現など



コミュニティバス第一号がスタート。県内では遅いスタートとなりましたが、

厚い壁を市民の願いと共産党の議会内外の頑張りでのりこえて実現。スタート当日は市議とともにバスの利

用状況を視察。みんなの顔が輝いています。今度は市内の各地に広げましょう。



財政力は4位なのに、教育費も児童福祉費も45位、老人福祉費は47位!

## 逆立ちした 千葉県政

年間予算1兆7289億円

これじゃ千葉の福祉も教育も、よくならないのは当然ね!



## 2 県が中学3年まで助成を拡大して

# 暮らし第一に 变えます!

共産党8議席への躍進の力で!  
議案提案で県民の願い実現します

共産党が現有の5議席から8議席に躍進すれば、議案提案権を活用して、県民の願いを議案として提案できます。

## 1 国保・介護

国保料が高くなったのは国が支出金を大幅に削減したためです。全国知事会は「1兆円の国庫負担増」を要求。これが実現すれば「1人当たり3万円、4人家族で12万円」の軽減となり、協会けんぽと同水準になります。県も一体となって医療と介護の負担軽減に取り組み、高い国保料や介護保険料は引き下げるべきです。

## 2 県が中学3年まで助成を拡大して 高3まで医療費無料に

県民と日本共産党の頑張りで子ども医療費助成が広がりました。しかし県の通院助成は小学3年までです。県が中学3年までの通院助成を行えば、全県で高3までの医療費助成・無料化に大きく前進させることができます。

《高3までの助成、17市町村に》  
銚子市、旭市、八街市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、神崎町、多古町、東庄町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、長柄町、長南町、御宿町



## 3 30人学級の実施、父母負担軽減を

- 正規教員増やし、30人学級を実現します。
- 県の給付型奨学金制度を拡充するなど家庭の学費負担を軽減します。
- 私立高校の経常費助成を引き上げ、授業料減免制度を拡充する。施設整備費を含む学費全体に対する減免制度を創設します。

## 4 特養ホームと保育所の増設を

- 入所待ちが1万1千人を超える特養ホームの増設をすすめます。
- 認可保育所を抜本的に増設し、待機児童の解消をはかります。
- 学童保育の大規模・過密化を解消するとともに、指導員の労働条件を改善します。



## 5 若者の就業と定住対策を

- 若者や失業者を雇用した中小企業への就職奨励金助成事業を創設します。
- 県として最低賃金を時給1500円へと大幅に引き上げるよう県内事業者に働きかけます。
- 若者・子育て世代の大きな負担となっている家賃への助成を創設します。
- 県営住宅の増設と修繕の促進をはかります。